

■第2分科会プログラム「原発ゼロ社会に向けて」

日時：2016年3月20日9:30～14:30

場所：福島大学M講義棟・3号室

全体座長・司会：寺西俊一（日本環境会議/一橋大学）

主催：原子力市民委員会/環境エネルギー政策研究所



●趣旨

1. 福島・原発・再エネ・エネルギー政策・気候全般にわたって今起きている問題群を全体的に俯瞰しつつ、その解決に向けた方向性について、対話・探求・創造型のワークショップ方式で、論点を深掘り・展開する。
2. フラットなワークショップ方式で討論を行う。

	時間	内容
第1部	9:30～11:00	論点の提示(原発、再エネ、気候、エネ政策全般)
第2部	11:00～12:30	主要論点についての議論
昼食休憩		
まとめ	13:30～14:30	総合討論：これからの原子力・エネルギー政策に向けて

第1部：論点の提示(原発、再エネ、気候、エネ政策全般) (9:30～10:30)

- 論点提示後、若干の意見交換を行って、論点の追加・深掘り・重要性の判断等を行う。
- (1) 原子力発電復活を防ぐための主要争点(20分)
論者：吉岡 斉（原子力市民委員会、九州大学）
 - (2) 持続可能なエネルギー供給を実現するための主要争点(20分)
論者：飯田哲也（環境エネルギー政策研究所）

第2部：主要論点ごとの議論 (10:30～12:30)

- 以下の論点ごとの話題提供（各10分未満）をベースにそれぞれ議論する。
- (1) 原発ゼロを実現するための政策体系とそのガバナンス
話題提供：伴 英幸（原子力資料情報室）
 - (2) 原発再稼働をどう考えるか（安全規制を中心として）
話題提供：筒井哲郎（原子力市民委員会、プラント技術者の会）
 - (3) 原発立地地域の課題
話題提供：朴 勝俊（関西学院大学）
 - (4) エネルギー・電力需給の将来像
話題提供：松原弘直（環境エネルギー政策研究所）
 - (5) 地域からの実践的ソリューション
話題提供：佐藤彌右衛門（会津電力）

第3部：総合討論：これからの原子力・エネルギー政策に向けて (13:30～14:30)

- 寺西座長をコーディネータに、これまでの議論を踏まえつつ、現状から望ましい政策に向けて、政策プロセスやガバナンス、政治のあり方を含めて、どのように見直してゆくのかを議論する。